

MCC 雑感 — 2006-2

2006-2-16

出席者15名

コーヒータイム参加11名

2006年2月のMCC例会は徳田さん、小島さん、亀山さん、橋本さんが欠席、で参加者は15名と、先月に続いて盛況であった。

特に今回は話題の中心が「画像」ということで、皆さん関心高く盛りあがった。

* 初級講座「画像」

今月のテーマは皆さん関心が高い画像である。

これを採り上げるに先立ってアンケートを行なった結果、デジカメが無い人は3人、スキャナー持っていない人は5人しかいないことが判った。

MCCに於ける画像作成の為のハードウェア所有率はデジカメ84%、スキャナー74%という高い比率なのである。

ソフト面で云うならば、ACDSeeが9人、Photoshopが10人、どちらか一方を所有する人は延べ15人という素晴らしい数字が示されている。

つまりMCCメンバーはハード、ソフト両面でかなり充実した画像処理体制を整えているという内容なのである。

しかしながら、実際に画像の取扱について云うならば、まだまだレベルは低いと云わざるを得ないのが実情で、皆さんパソコンに向って悩み多い現状であろう。

さて、今日の話は

1) 大ちゃんのノートン安全確認報告が開けないという問題

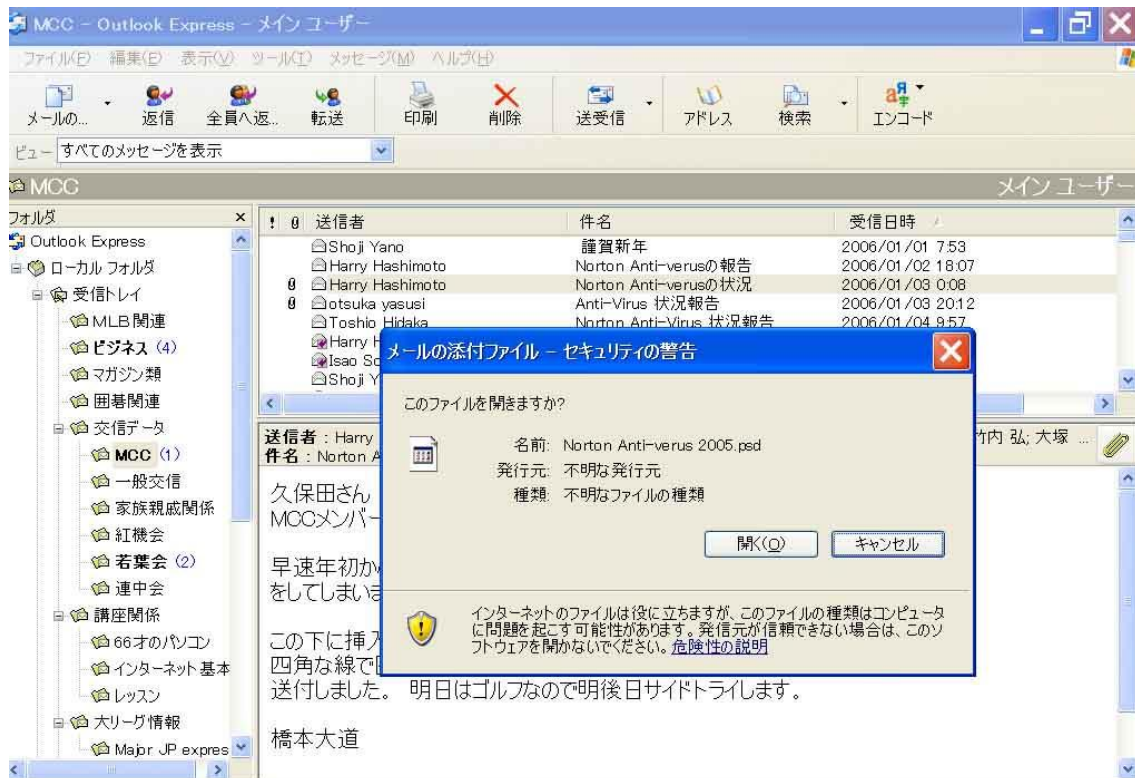
新年恒例のノートン確認画面だが、橋本さんのものはうまく開けなかった。



そこでこれを題材として採り上げたのだが、実はこれがうまく開けなかった理由は、

橋本さんの場合画像は **Photoshop** で作られており、P S D形式だったので、これへのリンク付けがうまく出来ない、或いはそもそも **PHOTOSHOP** を持っていない人には開けないだろうという、私の思いつきの失敗だった。

かなりの人は **ACDS** でいとも簡単に開いてしまい、全く問題にならなかったのである。



2) 吉田さんの猫ちゃんの画像を5つの形式 (BPM, J P E G, P S D, P C T, T I F F) で開けるか

だいにもの問題は子猫の写真を5つの画像形式で開いて見比べてみようというテーマで、こちらはかなり皆さん苦勞もされ、それなりの研修効果があったと思う。

目だったのは

大塚昭さんが98のハンディを乗り越えて、 **Photodesigner, Photoshop Element-2 Quick time** という3つのソフトを駆使して見事に全部開いてみせたこと

田中勇介さんが苦心のけっか、PSD,PCTは開けないという報告を寄せられ、このことにより画像ソフトの意味を的確に理解されるに至ったこと

日高さんが **Photoshop Limited Edition** を使って全部開き、容量の差及び拡張子の変換について学習されたこと

いわば98-Me勢が頑張っって実習されたことで、XPでACDSを保有する方々は簡

単に開けてしまうために逆に苦勞せず、学習もしないという結果を露呈した。



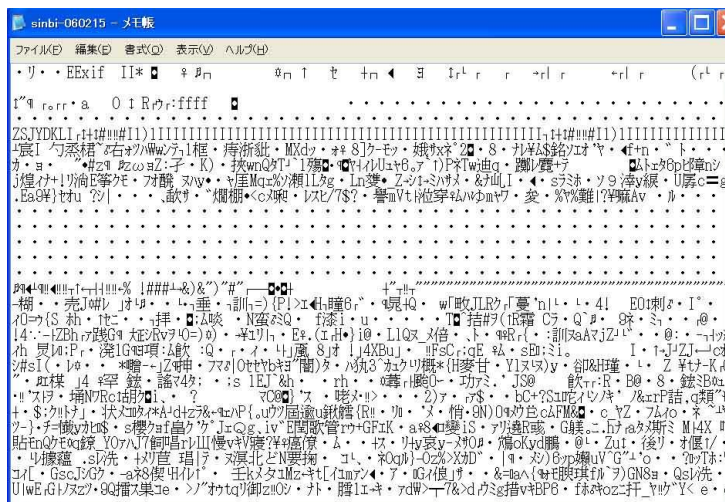
3) 康さんのシンビジュウム写真が画像として開けるか

2月15日に大塚康さんがメンバーにメールでご自慢のシンビジュウムの写真を送られたのだが、これが最後の研修テーマとなった。

この添付ファイルはDATという拡張子が付いており、当初は画像とは思われなかった。



事実これをダブルクリックすると、文字化けのテキスト文書が表示されたのである。



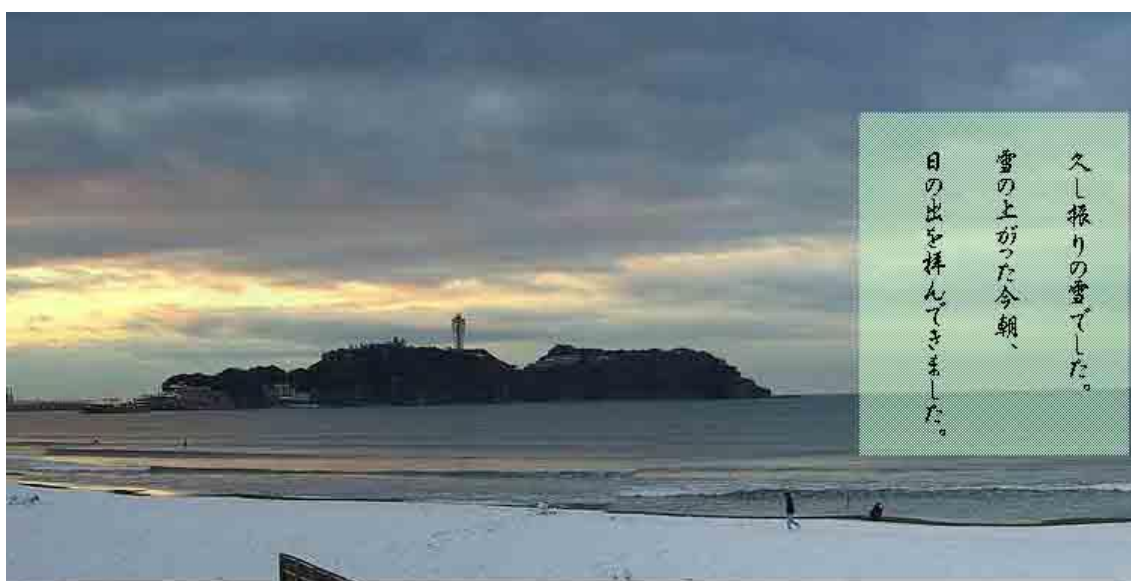
ところが後になってこのファイルはペイント、インターネット・エクスプローラなどで開けば立派なシンビジュウムとなって見えることが判明した。



大塚さんの怪我の功名とも云うべきテーマアップの結果、今月の画像研修は更に一層深みを増したと云うことが出来るだろう。

しかし画像の形式、ソフトとの関連付けに終始してしまって、当初目指した、また多くの人が望んだ画像のサイズ変更、レタッチなどには時間切れで届かなかったのはやや残念ではある。

皆さんの論議があまりに活発で、今月折角の綺麗な写真を頂いた矢野さんの雪の江ノ島、田中弘文さんの雪の日比谷公園については忘れられてしまって、これは司会者のミスと云うしかなく、この場を借りてお二人にお詫びしたい。ここに再度掲載させて頂き、記録に留めたい。



と、云う事で今回は画像に終始しました。
後半副島さんにわざわざご持参頂いたノートパソコンを使って、メールの整理、ユーザ一切り替えの手法をご披露しましたが、是非皆さんがメールの整理・保存に心がけ、決して保存が面倒だから削除してしまうという安易な手段に走らないよう切望致します。

—以上—